

平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号	42	作成日	平成 17 年 6 月 20 日
事業名	図書資料貸出事業		
所属名	教育委員会事務局 中央図書館 庶務係	電話番号	3656-6357 (直通)

事業の目的及び概要
 区民の多様なニーズに応え、図書、記録その他必要な資料を収集し整理、保存して、広範な情報を提供するとともに、生涯学習の拠点として自主的な学習・文化活動を支援します。
 施設構成：中央図書館1館、地域図書館6館、コミュニティ図書館3館（平成16年度から図書館法の位置づけ）

事業の開始年度

現在の課題

図書資料の効果的な整備：資料の収集方針や選書基準が社会の変化や各館の利用実態にあったものとするため、16年度に選書基準等の見直しを行い「資料収集方針と選定基準」を改訂しました。

利用者が資料を探しやすい図書館づくり：区内図書館共通のサービスであるインターネット検索システムや中央図書館独自サービスのレファレンス専用カウンターの設置など多様な検索方法を提供していますが、利用者が求める資料を、自ら『探せる・選べる・予約ができる』しくみをさらに充実させる必要があります。

事業の対象者と動向 区民全体 対象年齢あり ()
 [区人口・各年4月1日現在] 対象条件 ()

14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向
640,389人	646,974人	653,743人	657,767人		↑ 増加傾向

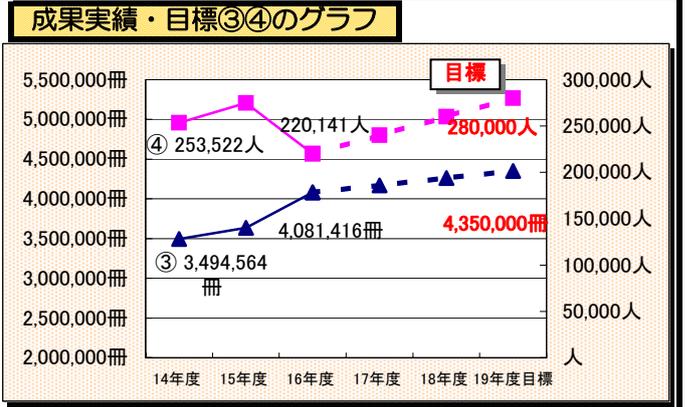
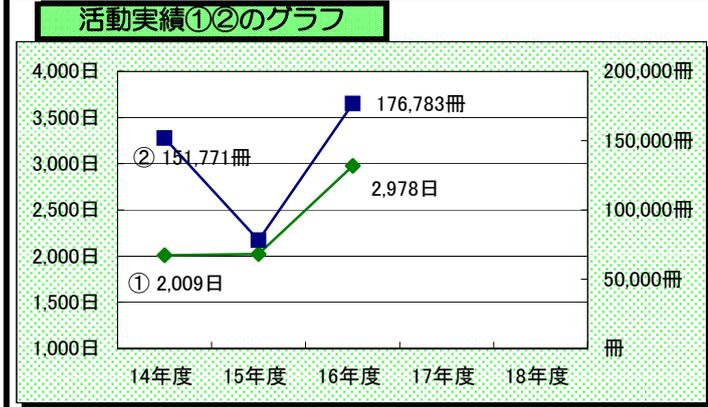
備考： _____

活動指標	活動指標名	活動指標の説明
①	年間開館日数	1年間の図書館開館日数（区立図書館10館合計）
②	年間図書受入数	1年間に購入および寄贈された図書・資料数

活動実績	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	
①	2,009日	2,023日	2,978日	日	日	中央図書館では16年4月から、小岩・西葛西図書館では17年4月から月曜開館及び日曜・祝日の開館時間を20時まで延長しています。また16年4月からコミュニティ図書館3館を区立図書館として整備しました。
②	151,771冊	78,151冊	176,783冊	冊	冊	

成果指標	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
③	年間貸出図書資料数	1年間に貸出された図書資料数
④	登録者数	各年度における利用登録者数

成果実績・目標	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
③	3,494,564冊	3,633,669冊	4,081,416冊	冊	冊	4,350,000冊	17～18年度に実施する地域館における月曜開館・日曜祝日の開館時間延長の効果を見込みました。
④	253,522人	274,889人	220,141人	人	人	280,000人	



事業名 図書資料貸出事業

実施の根拠となる法令等 図書館法

民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし あり

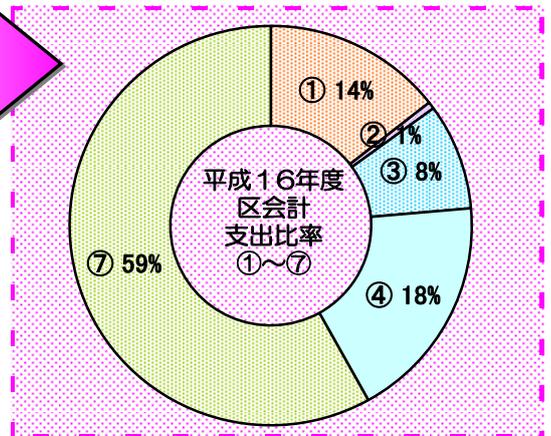
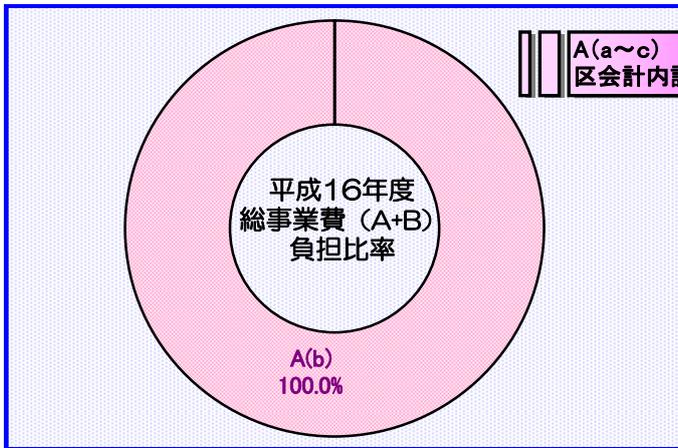
委託等の内容 (図書館サポーター：本の配架、図書館行事の受付、図書館見学者への館内案内等)

対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①		
②		
③		

その他背景・他の自治体の状況等

16年度総事業費 (A+B) 1,312,693千円



A 区の会計内訳 (a~c) 1,312,693千円

A(a) 国都支出金 (歳入)	0千円
A(b) 区負担分	1,312,693千円
A(c) 受益者負担 (歳入)	0千円

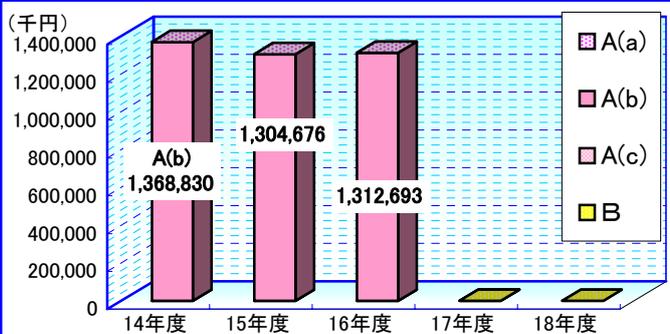
B 利用者が事業者等へ直接支払う額	0千円
-------------------	-----

支出内訳 (①~⑦)

① 資料の収集等に関する経費 189,116千円	図書資料購入の経費など
② 資料の貸出に関する経費 9,423千円	図書資料運搬の経費や図書館サポーターの経費など
③ 図書館システムの運用管理 111,511千円	システム機器使用の経費や保守委託の経費など
④ その他事業費 239,842千円	光熱水費・清掃委託料などの施設維持経費等
⑤	
⑥	
⑦ 人件費 762,801千円	

ア 常勤職員	70.0人
イ 非常勤職員	47人
ウ 臨時職員	月平均70人

総事業費の経年変化 (14年度~)



経費は全額 区が負担しています。

16年度の

貸出図書資料一点あたりの経費 **322円**

経費の説明

事業費はほぼ横ばいですが(14年度は電動書架を購入したため、その他事業の経費が増加しています)。

平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	42	事業名	図書資料貸出事業
-------------	----	------------	----------

所属名	教育委員会事務局 中央図書館 庶務係
------------	--------------------

所 管 課 長 評 価

そう思う ←→ そう思わない

	評価項目	評点	5	4	3	2	1	備 考
【必要性・代替性】								
1	区が実施すべき事業である。		○					
2	目的を達成するために他の手段がある。						○	
【実績】								
3	目的を果たすために有効な事業である。			○				
4	事業の成果を上げている。		○					
【公平性】								
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。			○				
6	受益者負担を検討する必要がある。							
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価								
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。				○			
8	民間委託の可能性はある。					○		
【効率性】								
9	工夫や改善が必要である。			○				
10	経費を削減できる可能性がある。				○			

所 管 部 長 の 意 見

中央図書館の開設を契機にサービスの向上に努めてきたが、現在江戸川方式での利用日数および時間の拡充を進めているところである。目標達成はもとより、各利用者の満足度をさらに高めていきたい。

平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	42	事業名	図書資料貸出事業
-------------	----	------------	----------

所属名	教育委員会事務局 中央図書館 庶務係
------------	--------------------

外部評価委員会評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。		○				
2	目的を達成するために他の手段がある。				○		
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。		○				
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。			○			
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。			○			
8	民間委託の可能性はある。			○			
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。		○				
10	経費を削減できる可能性がある。		○				

外部評価委員会の意見

- ・近年、開館時間の延長など、区民にとっての利便性が向上するような改善がされたと評価している。
- ・あと数年で電子図書へ移行していくのではないかと。インターネットの時代にどう対応していくか研究する必要がある。
- ・電子図書も新しい流れであるが、一方で資料としての本の価値も高まる。今後ますます充実させてほしい。
- ・新しい図書館と既存の図書館とで、設備等に格差が生じている。経費の問題もあるが、盗難防止策など改善の工夫をしたほうがよい。